

2021.8

報道関係者各位

福田美術館
公益財団法人有斐斎弘道館

福田美術館×有斐斎弘道館 京菓子コラボレーションのお知らせ

福田美術館と嵯峨嵐山文華館の二館で開催中の「京のファンタジスタ ～若冲と同時代の画家たち」展にちなみ、若冲と時を同じくして18世紀の京都で活躍した儒者・皆川淇園の学問所である「有斐斎弘道館（ゆうひさいこうどうかん）」とコラボレーションし、伊藤若冲「蕪に双鶏図」をイメージした京菓子が出来上がりました。



伊藤若冲「蕪に双鶏図」部分（福田美術館蔵）



京菓子を手掛けたのは京都の老舗、有職菓子御調進所老松。「蕪に双鶏図」が上生菓子になりました。鶏の羽と蕪畑を高度な技術を要する京菓子の伝統技法である「はさみ菊」の手法で表現し、蕪をイメージした部分は上方だけ切ることによって、白い実の部分が見えるように工夫が凝らされています。

有職菓子御調進所 老松

- ・北野店（京都市上京区上七軒）
 - ・嵐山店（京都市右京区嵯峨天龍寺）
- 〈公式HP〉 <http://oimatu.co.jp>

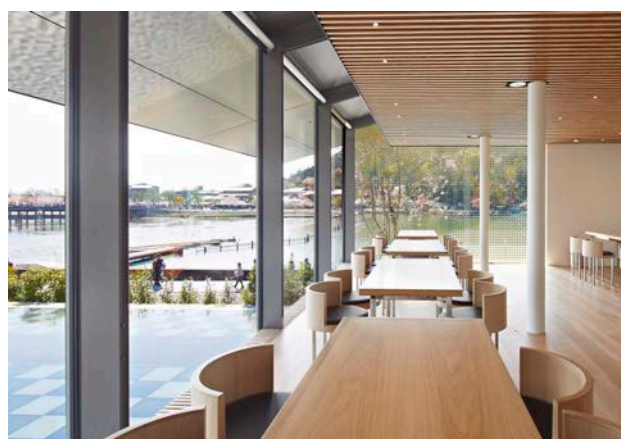


京菓子付き展覧会チケットを限定発売

上生菓子の「蕪に双鶏図」は、「京のファンタジスタ ～若沖と同時代の画家たち」の期間中、オンラインにて発売中の入館券+京菓子と冷煎茶付のチケットをご購入頂くことにより、福田美術館内のカフェにてお召し上がりいただけます。



和菓子+冷煎茶セット提供イメージ



カフェからは嵐山と渡月橋を望む絶景を楽しめるロケーション

京のファンタジスタ ～若沖と同時代の画家たち 前売入場券<京菓子+冷煎茶付きチケット>

料 金

一般・大学生/¥2,500
 高校生/¥1,900
 小中学生/¥1,600
 障がい者と介添人1名まで各/¥1,900

お土産として
 クリアファイル
 が付いてきます

発 売 期 間

2021年8月21日～10月7日15:00まで

利用可能期間

2021年9月4日～10月10日までの間の土・日・祝

購 入 方 法

福田美術館のオンラインチケットサイトからお申込

<https://www.e-tix.jp/fukuda-art-museum/>



もっと知りたい!という方に

有斐斎弘道館で京菓子付き講演会

有斐斎弘道館にて、「京のファンタジスタ ～若冲と同時代の画家たち」を担当した江戸絵画の研究家、岡田秀之氏による講演会を開催いたします。もれなく上生菓子の「蕪に双鶏図」のお土産付き。ぜひ福田美術館の展覧会と併せてどうぞ。オンラインでのご参加も可能です。
(※オンライン参加の方には京菓子は付きません)



有斐斎弘道館

講演会／18世紀の京都、その文化に迫る ～活躍した人物を通して～

- 参加費 | ①福田美術館入館券付チケット／各回：¥5,000 (※京菓子のお土産付)
| ②オンライン参加・福田美術館入館券付チケット／各回：¥2,500

〈第1回〉伊藤若冲と与謝蕪村

- 日時 | 9月5日(日) 10:00～11:30
講師 | 岡田秀之(福田美術館学芸課長)

- ①福田美術館入館券付チケットサイト <https://www.kyoto-np.co.jp/list/secure/form?code=WD-2021-0041>
②オンライン参加・福田美術館入館券付チケット <https://event.kyoto-np.jp/>

〈第2回〉皆川淇園と円山応挙

- 日時 | 9月10日(金) 19:00～20:30
講師 | 岡田秀之(福田美術館学芸課長)
| 太田達(立命館大学教授)
| 濱崎加奈子(有斐斎弘道館館長)



- ①福田美術館入館券付チケットサイト <https://www.kyoto-np.co.jp/list/secure/form?code=WD-2021-0042>
②オンライン参加・福田美術館入館券付チケット <https://event.kyoto-np.jp/>

福田美術館 × 有斐斎弘道館京菓子コラボレーション プレス用画像



01_京菓子_蕪に双鶏図_1



02_京菓子_蕪に双鶏図_2



03_京菓子_蕪に双鶏図_切り抜き用



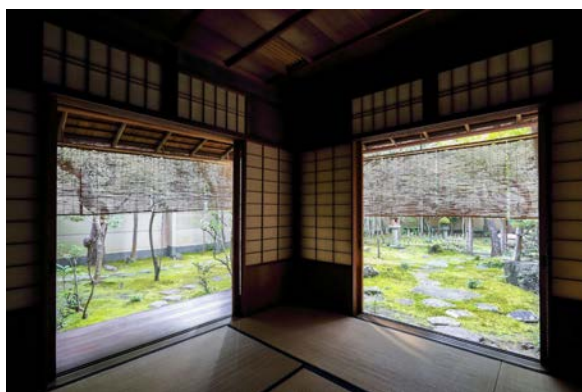
04_有職菓子御調進所 老松_店舗外観



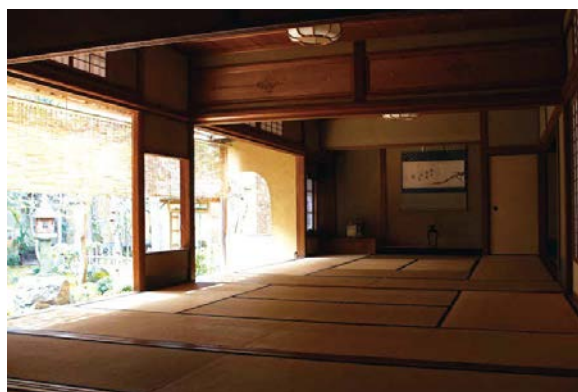
05_京菓子_蕪に双鶏図_福美提供イメージ



06_福田美術館_カフェ内観



07_有斐斎弘道館_1



08_有斐斎弘道館_2

福田美術館について

美しい自然と日本美術の融和。日本文化の新たな発信拠点として

京都・嵯峨嵐山は古来歌枕でもある場所で、多くの貴族や文化人に愛され芸術家たちが優れた作品を生み出す源泉となってきました。福田美術館は「100年続く美術館」をコンセプトに、現代まで受け継がれてきた日本文化を次世代に伝え、さらなる発展へと繋ぐ美術館を目指します。

オーナーである福田吉孝は京都に生まれ育ち、そこで事業を興し、今日まで続けてきたことに対し、地元の方々のご支援とこの地に恩返しをしたいという思いから、2019年10月、美術館の設立に至りました。今や日本国内だけでなく、世界中から多くの方が訪れる観光地である嵐山。その中でも渡月橋を望む大堰川（桂川）沿いの景勝地に位置し、四季折々でそれぞれに変化する風景は1000年変わらず人々を魅了しています。この美しい自然とともに日本美術の名品を愉しんでいただくことで、嵐山が世界有数の文化発信地となることを願います。



嵐山にふさわしい、未来へむけた日本建築の形

福田美術館の建築を手掛けた安田幸一氏は、「蔵」をイメージした展示室や外の自然とのつながりを感じられる「縁側」のような廊下など、伝統的な京町家のエッセンスを踏まえつつ、これから100年のスタンダードとなるような新しい日本建築を目指しました。また、庭には大堰川に連なる水鏡のごとく嵐山を映し出す水盤が設けられており、渡月橋が最も美しく一望できるカフェからは最高の眺めを味わうことができます。



有斐斎弘道館について

<和>を再生するための新たな学問・文化サロン

京都・上京に位置する弘道館は、江戸中期の京都を代表する儒者・皆川淇園（みながわきえん／1734-1807）が1806年に創設した学問所で、私立大学の先駆とされています。淇園は「開物学」という独自で難解な学問を創始しましたが、詩文や書画にも優れた風流人で、山水画は円山応挙に劣らずと評されたほどでした。門弟3千人とも言われ、多くの文化人と親交を結び、また亀山藩や膳所藩など、地方に賓師として招かれました。弘道館は、この址地辺に建てられた石碑にちなみ、名付けました。また、有斐斎（ゆうひさい）は、淇園の号のひとつです。



有斐斎弘道館は、2009年に皆川淇園の学問所址の数寄屋建築と庭園が取り壊されそうになったところを、研究者や企業人らの有志により、一時的な保存を成し遂げたものです。同時に、皆川淇園とその時代について考える研究者による「淇園連舎」が立ち上がり、現在の有斐斎弘道館の活動の礎となりました。その後、2011年に公益財団法人を立ち上げ、寄付を募ることで、少しずつ土地建物を買っていき計画をいたしました。2012年には税額控除団体に認定され、日々、ボランティアにより庭の手入れをするなど、有志による活動が続けられています。

弘道館では、現代に必要な文化芸術による<知>を再生するための、新たな学問・文化サロンとして、茶事や講座をはじめとする、さまざまな事業を行っております。日本の伝統にこめられた深い知恵と類い稀なる美への精神性を、意識的にくみあげることによって、未来の京都、未来の日本にとって必要な、新しい知恵をつむぎだすための高度育成機関として、多くの方々のご支援、ご協力をお願いいたします。なお、京菓子展「手のひらの自然—徒然草」2021を開催します（会期：2021年10月31日（日）～11月14日（日）、京菓子展HP: <https://kodo-kan.com/kyogashi/>）。

住所：京都市上京区上長者町通新町東入ル元土御門町524-1

電話番号：075-441-6662

ホームページ：<https://kodo-kan.com>

メールアドレス：info@kodo-kan.com

交通アクセス：地下鉄「丸太町」または「今出川」駅から徒歩8分



福田美術館概要

- 名称：福田美術館／Fukuda Art Museum
- 住所：〒616-8385 京都府京都市右京区嵯峨天龍寺芒ノ馬場町3-16
- 電話番号：075-863-0606 (FAX) 075-863-0607
- メールアドレス：info@fukuda-art-museum.jp
- ホームページ：<https://fukuda-art-museum.jp>



- 敷地面積：1982㎡
- 延床面積：1193.58㎡
- ・展示室1／151.2㎡
- ・展示室2／175.4㎡
- ・展示室3／64.5㎡
- 交通アクセス：
 - ・JR山陰本線「嵯峨嵐山」駅下車、徒歩12分
 - ・阪急嵐山線「嵐山」駅下車、徒歩11分
 - ・嵐電（京福電鉄）「嵐山」駅下車、徒歩4分



本展に関するお問い合わせ

福田美術館広報事務局（ウインダム内）

TEL 03-6661-9448 FAX 03-3664-3833

Email 福田美術館：fukudamuseum@windam.co.jp

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-28-9-4F

「福田美術館」広報事務局

担当：多田